

# 教育心理学研究法 II (実験法)

浅川伸一

平成 17 年 7 月 1 日

月曜 5 時限 16:20-17:50 (できるだけ時間通りに始めますので、16:25 には教室へ入り着席しててください)

## 1 講義内容

実験心理学を体験を通して習得することを目指す授業にしたいと考えています。受講者全員をいくつかのグループに分け、実際に心理実験を行ってもらおう予定です。前期は古典的になっている有名な実験の追試を行うことで、実験心理学の歴史を理解することが目標です。後期は、これからの心理学にとって重要だと思われる機能的脳画像研究とニューラルネットワークを取り上げチャンスがあれば体験していただきます。ただ講義を聴いているだけでは分からない実験心理学の楽しさを知ってもらえればと思っています。

### 1.1 講義計画

(前期)

1. 心理実験とは何だろうか？なぜ実験をしなければならないのだろうか？  
そもそも心理学に実験が必要なのだろうか？ (1 回)
2. 実験計画法の基礎 (2-3 回)
3. Sperling の iconic memory (4-12 回)
4. Posner の attention (4-12 回)
5. Treisman の visual search (4-12 回)
6. 実験結果のプレゼンテーション (13 回)
7. 実験結果についてのディスカッション (14 回)

(後期)

1. Livingstone and Hubel の psychophysics (15-18 回)
2. 心理学の新しい波 (1) 機能的脳画像研究 (19 回)
3. 論文報告会 (20-23 回)
4. 心理学の新しい波 (2)neural network (24-27 回)
5. シミュレーション結果報告会 (28-29 回)

教科書授業中に配布します。

参考文献授業中に指示します。

評価方法授業中の口頭発表 (50%), レポート (50%)

備考心理統計学の初歩を知っている必要があります。

## 1.2 講義内容ダイジェスト

心理実験とは何か? という素朴な問いから始めて、前期は実験心理学の歩んできた道を辿りながら、後期は最新の研究成果まで体験してみようという、いささか欲張りな講義 (というより演習に近い) にしようと思っています。実際に自分たちで実験したデータからどのような心理モデルが想定できるのか、そして、この実験結果を踏まえて、さらに発展させるにはどうすれば良いのか、を考えて行きます。

キーワード

実験心理学、認知心理学、認知科学、神経心理学、機能的脳画像、ニューラルネットワーク、計算論的認知神経科学

## 2 自己紹介

- 本名: 浅川伸一 (あさかわしんいち) Shin-ichi Asakawa
- 学位: 博士 (文学) 早稲田大学 (Ph.D. in psychology, Waseda university)
- 専攻: 心理学。認知科学。神経心理学。ニューラルネットワーク。計算論的認知神経科学。最近は armchair psychology と称して計算機実験ばかりしています。
- 電子メールアドレス: asakawa@twcu.ac.jp
- 電話番号: 03-5382-6746 (研究室)
- ファクシミリ: 03-5382-6709

- 趣味：考えること。海外単独放浪。登山。紅葉狩り。中国茶 (Thinking, Traveling world alone, Mountaineering, Excursion for viewing scarlet maple leaves, Chinese Tea)
- 特技：考えること (Thinking)。考えることを考えること (Thinkig of thinking) が知性 (intelligence) の出発点だと思います。既成の考えにとらわれず、自由に複数の視点から考えてみることは重要です。
- モットー：大胆に生きること
- 目標、目的、ゴール：長生き
- 身長：161 cm
- 体重：55 kg
- たばこ：2002年11月23日以来禁煙しています。それまでは一日50本のヘビースモーカーでした。
- アルコール：基本的に飲めません。ビールなら中ジョッキ一杯、日本酒なら一合、ワインならグラス一杯程度が限界です。
- 嫌いなもの：椎茸、ゴキブリ、血液型や占いなど根拠飲ないものを信じる人

### 3 心理実験とは何だろうか？

心理実験をすれば人の心が分かるのと思う？知人 F の証言：浅川さんと話をしていると全てを見透かされているような気がする。→ オイオイ (~-~)

初対面の G さんの証言：まあ、心理学者さんなんですか。人の心がわかるんですか？→ そんな馬鹿な！

だって自分のことは自分が一番良く知っているはずじゃない!? そう思わないか？だったらなぜ心理学は実験をするのだろうか？

なぜ実験をしなければならないのだろうか？

そもそも心理学に実験が必要なのだろうか？

個人的意見：心理学とは心の科学。脳科学の一分野。心の方程式をみつきたい。脳は人類に残された最後の開拓地である！

カウンセラー大嫌い！人の悩みを聞いて何が楽しいのかな？不思議だ。

How does the brain work? What's the purpose of the brain? Where should we go?

参考文献：「マンガサイコセラピー入門」ナイジェル・ベンソン著、小林司監訳、講談社ブルーバックス、840円 - こんな手口にダマされないように読んでおくのも良いかも...

受講希望者(もぐりも含む)は4月12日23:59までに asakawa@twcu.ac.jp  
へメールすること。その際、Subject は「受講希望」「来週まで意思決定保留」  
「受講しない」のいずれかとし、本文には、学生番号、名前(ふりがな)、授  
業連絡用のメールアドレス(携帯メールアドレスも可)を書くこと。

備考：5月1日は休講にする予定です。ゴールデンウィークの真っ只中に  
授業何てやってられるか！